



JWTC

Japan Women in Travel Club NEWSLETTER

広げよう！
人の輪 旅の輪



CONTENTS

- P1 JATAxJWTC 第6回勉強会
- P2 親睦会レポート 向島百花園と老舗料亭「韻松亭」/リレーエッセイ
- P3 会社&仕事紹介/新入会員紹介/第10回サンパウロ便り
- P4 私のふるさと自慢/運営委員会からのお知らせ/編集後記



いつもはテレビの画面の中で拝見する吉永みち子氏がここに。講演では「旅とは巨大なブランコ」と語り、観光に携わるものにとって、多くのキーワードを投げ掛けた。

今年で4年目を迎えた JATA・JWTC 合同勉強会。今年はアウトバウンド復活の年という業界の目標を勸策し、「旅をする楽しさ」を改めて考え、今一度「旅に出る」という原点を問い直し、商品作りのヒントを考える勉強会を JATA 研修室で開催しました。講師はノンフィクション作家の吉永みち子氏。「だから 私は旅に出る」をテーマに講演し、多くの参加者が笑いと話術に引き込まれました。

旅への憧れと 添乗員になるため猛勉強
各地のにおいを運ぶ行商人の話に目を輝かせていた幼少の頃。上野まで行って電車を眺めるのが楽しみだったと回想できるほど、子供の頃から旅への憧れを募らせていました。大学受験では、添乗員になろうと考える学科選択を

JATA&JWTC 第6回勉強会

2016年5月25日(水)
参加者65名(JATA 30名、JWTC 20名、ビジター15名)

ノンフィクション作家 吉永みち子氏講演

「だから 私は旅に出る」

し、これからは観光資源が有る国が有望と見通し、また合格の確立が高そうな学科はと考へ、東京外国語大学外国語学部、インドネシア語学科を目指し受験。無事合格したものの、学生紛争などがあり、学業以外に目が向き、スポーツ関連の仕事をする事になり、競馬誌で初の女性記者になりました。

旅は巨大なブランコ 計り知れない旅の効用

今回の講演を機に「旅」の定義を改めて調べましたが、著名人が旅に対しての沢山の言葉を残していて面白い。旅は地図が無いと時間が無駄になり方向性を失います。未知の旅とは地図を捨てることから始まるのかもしれない。

旅人をツーリスト、トラベラーと違う表記をしますが、ツーリストとは快適さと心地良さを求め、予定通りなるべくたくさん観光地を目指し、男性に多い傾向があります。トラベラーとは未知なる体験を求め、自由で柔軟性がある

女性に多い傾向があります。

女性にとって旅の効用が重要な時期があります。いくつかの旅行仲間やグループを持っていて、都合に合わせて旅に出る。旅とは巨大なブランコであり、揺れる(視点が動く)ことにより気持ちが変わり、新しい発見が生まれます。旅の効用は人生において計り知れないものがあります。

一人旅は平和の象徴

女性が一人旅のできる環境は、平和であり豊かな時代の象徴です。旅の形も変わってきて名所を見ない旅行者や、おひとりさま旅行が増えていますが、男性も男性ならではの旅があつてもいい、いろいろな

旅の形ができてほしい。

先日、都バス一日乗車券を購入し、今までと違う体験をしました。目黒駅〜東京駅南口〜築地市場〜東京都現代美術館〜江戸資料館〜浅草〜水上バス。旅どころがあれば身近な日常も異空間になり、少ないお金でも十分楽しむことができました。旅をしようと思ふ気持ちが大切です。(勅使河原晃子 シー・エイ・エヌ)

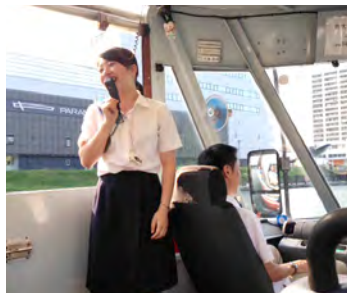


勉強会後の懇親会では、講師の吉永氏も参加され、会員もビジターの方々も和気あいあいのムードで仕事の話、旅の話で盛り上がりました。とても気さくで、話上手な吉永氏。失敗談も武勇談も、国内外のこれまでの旅の数々をご披露いただきました。

陸から川から 初夏を楽しむ旅～ 向島百花園散策と 老舗料亭「韻松亭」



梅雨の季節に JWTC 晴れ女パワー全開で園内散策を楽しむ



笑顔が素敵なスカイダックのバスガイドさん



みへんな「ダック」に変身だ!



園内散策後は、盛り付けもおしゃれな「花籠本膳」に舌鼓

梅雨の真っ只中とは思えないほど好天の10時15分に、会員13名とビジター6名の晴れ女一行19名は東向島駅に集合。向島百花園から親睦会はスタートしました。

ここは、江戸時代からの庭園といえ、浜離宮や六義園などの大名庭園とは異なり、江戸の町人が文人墨客の協力を得て開園した「民営の花園」です。昭和13年に東京に寄付され現在に至りますが、開園者の子孫が今もお園内で茶店を営んでいます。

2班に分かれた一行はガイドさんの説明を聞きながら、太田蜀山人の扁額に歴史を、紫陽花をはじめとした草花には、いつときの涼を感じることでできました。

お待ちかねの昼食は、上野の杜の中にある「韻松亭」で、「花籠本膳」の豆腐や湯葉料理に舌鼓を打ちました。用意された個室にビジターの方方もリラクセスした雰囲気です。料理を楽しんでいただけました。料亭お勧めの北海道の銘酒「国稀」の杯を重ねたことは言うまでもありません。

昼食後は、東京スカイツリーの袂から水陸両用バス「スカイダック」の乗車体験です。元気なバスガイドさんの話を聞きながら、亀戸周辺を走り、旧中川へスプラッシュ！とダイブしたところで、食後の心地よい眠りは破られました。

船となったバスは川の一角を行ったり来たりと、日頃水上バスを生業としている筆者はもちろん、参加者の中にも少々期待外れだったという意見がアンケートに見受けられました。しかしながら、話題の水陸両用バスは、来る2020年の東京オリピックでは、観戦に訪れる内外の観光客を競技施設に運ぶ交通手段として、都内の舟運の充実が取り沙汰される最中にタイムリーな企画でした。

都内であっても、行けそうで行けない場所や乗り物を組み入れた充実の一日はコストパフォーマンスも高く、参加者に好評でした。

(長野久絵 東京都公園協会)



自然の趣きの沼地に咲くハナショウブとアヤメの花



萩まつりに訪れたい「萩のトンネル」



向島百花園看板

業界在籍50年を節目に昨年末に(株)カーニバル・ジャパンの代表取締役を退任し、JWTCの皆さまにも「いよいよ悠々自適の生活ね」と励まされ、しばらくはその気であれもした、これもしたいと思っていました。ところが、クルーズ関係の仕事がいくつもあり、休眠会社にしていた(株)クルーズバケーションを3月に再開いたしました。

再開すると同時に、一緒に仕事をしたというクルーズ好きの経験豊富な人たちが集まってきて、弊社はシニアクラブみたいと冗談を言っています。

クルーズに関わってから既に30年余り過ぎ、尚飽きずにクルーズに関わっているということは、クルーズ商品そのものが魅力的であると同時に、クルーズに参加されたお客様の満足度が非常に高いということがあります。

お客様一人ひとりに喜んでいただけるクルーズ商品を選び、ごつてご案内し、クルーズ市場を拡大していくことが、再開したクルーズバケーション社員の夢

となっております。

一方で、オン・オフの時間のバランスをうまく調整し、今までは違う働き方を模索していましたが、今まで休日にしかできなかったテニスをウイークデイにしたり、大学時代の友達と一緒にコースに参加したり、妹たちと2週間ヨーロッパ旅行に出かけた、シアターライブを楽しんだりと大忙しの毎日です。

人生はケ・セラ・セラでGO!

おかげさまで健康に恵まれ、友達にも仕事仲間にも恵まれ、好き勝手に生きてきました。

ドリス・デイが歌った「ケ・セラ・セラ」が中学時代のクラスの歌。人生はなるようになる、心配することはないという意味の歌でクラス全員がこの歌に元気づけられていました。

今でもこの歌に元気づけられ、何事も前向きに楽しく毎日を過ごしています。

今回は、JTBトラベル&ホテルカレッジの坂本友理さんにバトンタッチです。

RELAY ESSAY リレーエッセイ

クルーズバケーション再開 (株)クルーズバケーション 木島 榮子(会員番号30)



ストラスブール市内の運河クルーズの途中に妹たちと、左が筆者

COMPANY

会員の会社 & 仕事紹介

東武トップツアーズ株式会社 鄭 明芬氏(てい めいふん)



経験豊富なスポーツ事業部は次の東京オリンピック・パラリンピックに向け多忙な毎日だ

東武トップツアーズ株式会社は昭和31年1月に創業、今年で60年を迎えました。平成27年4月に東武トラベルと合併し新組織体制として生まれ変わり、1年経過したところです。

創業以来、企業法人への積極的営業のほか、教育旅行、大会・会議・インセンティブなどのMICEもいち早く手掛けている会社です。また、官公庁、自治体などの視察旅行、トップミッション、海外プロモーションの招請事業にも展開しています。その中でもスポーツ事業は大会企画や立ち上げで経験豊富であり、1984年のロサンゼルスオリンピックからJOC認定業者として指定を受けており、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会でも旅行業界指定業者3社の中に含まれています。

私は2000年から派遣社員として勤務し、支店で大型団体の営業アシスタントを長く務め、2007年に正社員登用後は、法人営業、本社国内旅行部、メディカル企業担当部署を経験しました。

2015年1月から主に訪日事業を担当する現部署「国際事業推進部」に勤務し、初めてインバウンド事業に関わるようになりました。

「国際事業推進部」の主業務は現場支店の訪日案件などの後方支援です。地方支店から、訪日外国人の接客対応よろず相談、営業活動、プレゼン同行、運行支援はもちろん、自治体の訪日旅客誘致事業などの公示に添削するかの打診、企画書作成、受注後は共同で運行管理をするなど、業務の幅は広く多岐に渡っています、日本以外の第三国間での旅行も業務に含まれます。

所属部署には元海外支店長も数名おり、そんな先輩方の知識や経験に助けられながら、試行錯誤で業務を進めております。私は台湾出身ですので、台湾訪日や送客など双方向事業にも果敢にチャレンジしたいと考え、ますます張り切っております！

連載

CHIHO KANO

H.I.S. Brasil Turismo Ltda.
狩野知保のサンパウロ便り

第10回 リオ五輪とラテン気質

国民の関心が高い、熱気あふれるサッカー予選



いよいよ南米初のリオオリンピックが始まりました。ワールドカップの時と同様に、始まる1週間前までは、この国で本当にオリンピックが開催されるのかと思うほど、まったく盛り上がりを感じずに心配しましたが、いざ始まると有料テレビチャンネルが無料開放され、こぞって各試合の中継が放送されています。特にブラジルが強い種目、ブラジル選手が活躍した種目は、何度も何度もリピート放送されています。なぜここまで種目が偏るのだろう、オリンピックなのだから、サッカー以外にも興味は無いのだろうかと首をかしげていたところ、興味深い記事を見つけました。

記事によると、各種目をわかりやすく報道するというマスコミの努力も今一つだったが、報道の問題以外にも盛り上がりえない要因があるのだそうです。それは、日本では一般的な部活動が、ブラジルではオプション、つまり有料のため、スポーツは基本的に富裕層のものなのです。「やる気」があっても「授業料」が必要で、苦痛を強いるスポ根などもっての外。国体や高校総体などで幅広く選手を育成する日本とは大違いで、ブラジルでは多くのスポーツ選手が民間のスポーツクラブに所属しています。そのため、一部の国民にしか経験した事の無い競技に、当然ながら親しみは無く関心は低いまま…なるほどです。サッカーはブラジルが強い種目なので、オリンピックであれ、クラブチームの試合であれ、何でも国民の関心は高く、しかも優勝しか評価無し。サッカーだけはなかなかシビアです。

4年後の開催地は東京。日本人はオリンピックが大好きですし、ブラジルと違い部活動などでさまざまなスポーツ競技が身近な環境ですから、どの競技会場でも国を挙げてのおもてなしが期待できます。何より、今回のブラジルのように大統領不在や治安の心配もありませんので、選手はもちろんのこと、観戦に訪れる他国の方々にも安心して来日していただけます。旅行業としてはインバウンドの活性化に力が入る事でしょう。

ブラジルは、折角の外交や観光ビジネスの活性化の大きなチャンスを生かし切れず、何ともしない事かと残念に思います。しかし、深刻な不況の中で、予算を大幅に削減しながらも意外に良くやっていると評価されるこのパワーこそが、実はブラジルの底力。ワールドカップでもオリンピックでも前日までは整える、というミラクルを生むのかもしれませんが、「何とかなるさ」というラテン気質を改めて感じました。次回もお楽しみに。



カナリアカラーで埋め尽くされた応援席



お知らせ

●2016年6月20日付、一般社団法人日本旅行業協会 役員に就任致しました。



勅使河原 晃子
(株)シイ.エイ.エヌ
代表取締役社長



美甘 小竹
(株)フィンコーポレーション
代表取締役社長

●「ホテル グランパシフィック LE DAIBA」は 2016年7月1日より「グランドニッコー東京 台場」へ リブランド致しました。

MEMBER 新入会員紹介

会員番号 454 涌井 久美子 イタリアン地中海センター ウイングリゾート株式会社

このたび、入会させていただきました涌井と申します。

弊社は「イタリアン地中海センター」という名称で、イタリアの中でもまだよく知られていないシチリア島・南イタリアを中心に取り扱っております。とりわけ「美食」の島シチリア島には個人的にもすっかり魅了され、その良さを少しでも知っていただくようツアー作りを心がけている次第です。会員の皆さまとの新しい出会いを楽しみにしております。今後ともよろしくお願い申し上げます。



日本人に配布された安全対策用のリーフレット



生まれて以来、ずっと東京育ちの東京住まいの私にとって、ふるさは「東京」。渋谷に程近い、將軍鷹狩の地で知られる「目黒」です。子供の頃の渋谷と目黒は都会の郊外といったイメージでした。

よく遊んでいた近所の公園一帯は、旧石器時代から古墳時代にかけての貝塚遺跡で、東京三大貝塚の一つである「東山貝塚」です。竪穴式の住居跡も見つかっていて、旧石器、縄文、弥生時代を経て、古くから人々が住み、生活を営んできた土地ということがわかります。今も公園の崖下から流れ出る湧水は悠久の時を超えて、目黒川に注ぎ込んでいます。

残念ながら、その時代から先祖が住んでいたワケでもなく、今や原始の景色のカケラもありません。万一手つかずの自然が残っていたなら、屋久島などにかけずとも、太古からの時の流れを感じられる土地に暮らしていることになりましたね(笑)。時代はうんとさかのぼって、私の幼少期の東京は少し高い所へ登れば、遠く富士山を眺めることができました。幼稚園の園バス、小学校の通学路、近くの西郷山から見えた広重の絵そのまの四季折々の富士の姿が、今も心に残っています。

目黒川も昭和30年代ごろまでは、染物屋さんが反物を流れてさらしていたほど、のどかな清流でした。高度成長期に入り、川は汚染され

玉川通り(国道246号)も高速道路が頭上を通過して二階建てとなり、交通量も激増。高いビルが建ち並び、環境は一転しました。もはや私のふるさとからは富士山を望むことはできなくなり、目黒川土手に土筆の姿を見ることがもなくなりました。その美しかった眺めは、小学校と中学校の校歌の歌詞の中にのみ生きているだけになってしまいました。

失ったものは戻りませんが、かつて洪水対策の護岸工事の際に川岸に植えられた桜が、約半世紀たった現在、毎年みごとな花を咲かせるようになりました。中目黒まで続く桜並木が、都内屈指の桜の名所とうたわれるようになったことは、今の私にとり、ふるさと自慢の一つとなりました。東京のちよつと田舎の今昔物語。一度、自慢の桜を見にいらしてくださいませんか？



見事な桜の花が狭く目黒川。今では多くの人が訪れる人気のスポットだ

運営委員会からのお知らせ

特別勉強会「落語に親しむ」

噺家として旅行業界では知る人ぞ知る、富士屋ホテル(株)の常務取締役梶原宏氏(亭号:喜楽家笑助)をお迎えし、箱根の現状についても解説していただく予定です。落語の後は目黒雅叙園の和食を楽しみます。雅叙園の名の由来となった「文楽叙情」の精神にぴったりの勉強会です。

- 日時: 2016年9月30日(金)19:00~
- 場所: 目黒雅叙園「牛若」
- 参加費: 会員8,000円、ビジター9,000円



JATA&JWTC 第7回合同勉強会

- 講師: JR 東海ツアーズ 代表取締役社長 吉田修氏
- 日時: 2016年11月8日(火)※詳細は別途ご案内いたします。

沖縄勉強会1泊2日 ●日時: 2017年1月7日(土)~8日(日)
※那覇空港 12:00 集合、16:30 解散予定(※航空券は各自手配)

ホームページを活用しましょう!

JWTC ホームページに「運営委員会だより」のリンクボタンが登場しました。いち早くに「勉強会情報」などの運営委員会情報を知ることができるようになりました。

<http://jp-jwtc.org/>

編集後記

ビブリオバトルならぬ「タピリオバトル」というイベントに参加しました。一枚の写真と言葉で、自分の好きな宿への思いの丈を伝えるプレゼン大会。与えられた時間は3分間。最後に投票で優勝者を決めます。

紹介された宿は、国内外のさまざまなたいプ。知らなかった素敵な宿に巡り合えた喜びとワクワク感。そして、とても興味深かったのは、プレゼンターへの着目点、それぞれ異なっていたこと。

ある人は「食」、ある人は「人」、ある人は「建築」などなど。人が宿に求めることは千差万別だということを改めて実感しました。

やっぱり宿はおもしろい!

(桑垣美砂子)

JOIN US!

入会のご案内

私たち日本旅行業女性の会(JAPAN WOMEN IN TRAVEL CLUB, 通称JWTC)は、1980年に発足した旅行関連産業で働く女性の会です。

- *会員相互の親睦をはかり、旅行文化の向上に寄与する。
- *会員の専門知識、能力を生かし、社会への貢献を図る。

という目的を掲げ、勉強会や親睦会等の活動を続けています。

会員には旅行会社やホテル、ツアーオペレーター、航空・クルーズ、または旅行関連のメディアや保険会社など、ありとあらゆる旅行に関連した企業、団体に所属する女性たちが集い、日々研鑽を積んでいます。会員一人ひとりが業界のプロです。その高い専門知識や経験、技術を、共通の財産として、次代を担う業界女性にバトンタッチしていくことを目標に、「広げよう!人の輪 旅の輪」をキャッチフレーズに掲げ、活動を行っています。

入会資格は、まずは女性であること。そして、旅行関連の会社・団体等に勤務していること、この二つです。皆さんも、ご自身の会社から一步、外に飛び出て、私たちの仲間に加わりませんか? 業界を支える女性たちの話を聞くことで、刺激や勇気を得ることができます。

ご興味を持っていただいた方は、ぜひホームページ(<http://www.jp-jwtc.org>)で私たちの活動をご覧ください。お問い合わせや、お申込みは、運営管理部・橋本かおり k-hashimoto@keioplaza.co.jp まで。皆さんのご入会をお待ちしています。

お問い合わせ ▶ 運営管理部・橋本かおり
お申込み ▶ k-hashimoto@keioplaza.co.jp

JWTC ニュースレター秋号 vol.36-3

発行日 2016年9月1日
 発行人 山科 ほとり
 発行所 日本旅行業女性の会
 編集・制作 JWTC 広報戦略部
 勅使河原 晃
 根本 恵

Editor 本多 美知子
 Designer 森下 羊子

JWTC 事務局 〒107-0062 東京都港区南青山 2-22-15
 クリヤマビル7階
 (株)ピコ内 電話 03-5411-7218
 URL <http://www.jp-jwtc.org/>